

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年12月25日

保護者アンケート回収率 48.28%  
保護者の評価欄は、回収部の占める割合です。

事業所名: Dream

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	児童の成長と共に保育室が狭く感じるようになっていきました。長期休暇中の活動時間の変更に伴い、前半・後半の児童が合同で過ごす時間もありますので、活動内容を工夫してまいります。	はい…86% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 1%	小グループ編成での活動や長期休暇中の活動については、戸外や広いスペースを確保しながら展開していきます。
	2 職員の適切な配置	基準に基づいた人員配置を行っています。実務年数5年以上の指導員を配置し、様々な特性の子ども達に対応出来るような職員配置を行っています。	はい…86% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 1%	今後も職員の適切な配置はもちろん、職員それぞれがスキルアップを行いながら支援を続けていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的支援の活用をはじめ、個々のケースに合わせた情報伝達方法を見つけ、整備するように進めています。また、コミュニケーション場面では、簡単な手話や点字を活用するなど障がい特性に合わせた対応も行うように努めています。	はい…86% どちらともいえない… 0% いいえ… 1% わからない… 1%	利用児童の状況に合わせて環境設定や情報伝達方法を追求していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	サービス提供前には、漏れがないように業務チェックリストを活用しながら清掃・消毒を行っています。年4回の感染症対策委員会や研修において職員の感染症や衛生管理等についての意識の統一をはかっています。	はい…86% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 1%	今後も引き続き、感染症対策については、委員会の場で流行状況等を確認し、対策を検討しながら、誰もが清潔で心地よく過ごせるように環境設定に努めます。また、利用児童達とも感染症対策について実践状況を確認しながら、対策を進めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の業務前後のミーティングを基に毎月のスタッフ会議にて職員の意見交換を行い、業務計画や振り返りを進めています。		業務の役割分担を行いながら、職員間で日ごろから意見交換がスムーズに行える環境づくりに努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同法人内の他事業所で行われた事業所評価研修の資料を参考に業務改善を進めています。		今後は、第三者評価を受け、業務改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内で毎月のテーマを決め、研修を行っています。また、外部研修についても積極的に情報し、参加するように進めています。スタッフ会議などにおいて報告し合うことで共有にも努めています。		事業所内研修は、年間計画に基づき取り組んでいます。また、外部研修についても情報収集を行い、全職員に情報提供しています。研修参加したことをスタッフ会議やOJT研修などを通して、事業所内にフィードバック出来るようにしていきたいと考えています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用開始までに利用体験や保護者面談を行い、利用児童や保護者のニーズを確認した上で放課後等デイサービス計画の作成を行っています。	はい…93% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 0%	報酬改定に伴い、アセスメント内容も見直しを行い、変更しながら子ども自身や保護者のニーズを把握し、放課後等デイサービス計画作成に反映していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントやモニタリングを通して子どもの状況を把握した上で、個別活動と集団活動の場面で支援内容を検討し計画に盛り込むようにしています。	はい…93% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 0%	今後も継続しながら、子どもの状況に合わせた個別活動と集団活動の提供を行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	本人支援の5領域(「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」)の項目を踏まえ、アセスメントしたことを盛り込み、生活に即した具体的な支援内容で記載できるようにしています。	はい…93% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 2%	今後もより良い支援の充実を目指して、日ごろの支援を振り返りや研修受講で支援力向上を行いながら進めていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援前のミーティングでは、利用児童の様子を確認した上で、支援内容を	はい…93% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 3%	今後も保護者や関連機関との連携を取り、知れた情報を事業所内で共有しながら統一した支援に努めていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ会議においてチーム全体で活動プログラムの確認を行い、日程や手順についてもその時に調整、確認を行っています。		年間計画を基に活動ごとの担当者を明確にし、プログラムを充実していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日については、標準的な活動プログラムを設定し、休日・長期休暇については、季節に応じて戸外活動や公共施設の利用、合同行事など集団活動で交流を増やす		子ども達や保護者の意見も取り入れ、感染症対策に留意しながら、支援内容を検討していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本的な活動スタイルと地域行事や利用児童のニーズなどを取り入れながら、活動内容を検討していきます。	はい…93% どちらともいえない… 1% いいえ… 0% わからない… 0%	通常のプログラムを基本におきながら、子ども達のニーズや得意なことに着目しながら、達成感を味わえるプログラム作りを模索していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前のミーティングを必ず行い、前日までの子どもの様子や活動の進行状況の確認を行っています。		職員間の情報共有を徹底し、業務にあたるように心がけています。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、振り返りを行い内容を日報に記載し、その日に勤務していない職員も共有出来るようにしています。		気づいたことを言い合えるような職員間の関係づくりを心がけ、日報を活用し記録として残しておくようにしています。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々のミーティングや月例会議を通して、記録内容の確認や支援の検証・改善を行っています。		放課後等デイサービス計画に基づいた記録用紙の作成を行い、正確に記録できるように改善していきます。支援の検討・改善については、日々のミーティングやケース会議で実施していきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎月、ケース会議を行い児童の様子を職員間で確認し、保護者とモニタリング面談を行い、放課後等デイサービス計画の見直し、検討を行っています。		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを定期的に行なっていきます。また、期間内でも児童の状況の変化などによって支援内容の変更が必要な場合には、随時見直しをしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議には、積極的に参加し他事業所の様子をお伺いしながら統一した支援が出来るように取り組んでいます。また、相談員さんとは、普段から連絡を取り合い、より良い支援が出来るように努めています。		今後も継続して、サービス担当者会議には積極的に参加し、児童・保護者の状況を把握し、学校や相談支援専門員・関連事業所などとの連携をしながら統一した支援が出来るようにしていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有			
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者の要望に応じて積極的に情報提供する体制を整えています。		ニーズに応じて積極的に対応していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援協議会等に積極的に参加し、関係機関との意見交換や連携に努めています。研修に関しても要望を伝え、研修内容が充実出来るような働きかけも行っていきます。		自立支援協議会への参加を継続し、関連機関との連携を取り、研修情報の収集をした上で事業所内で情報共有し、参加を促進していきます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障がいのない子どもと活動する機会の提供には至っていません。公共機関の利用や作品展示などを通して、地域に開かれた事業所を目指しています。	はい…36% どちらともいえない…7% いいえ…14% わからない…43%	今後も公共機関の利用や作品展示などを行っていきます。直接交流については、保護者や児童のニーズを確認しながら検討していきます。
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の清掃活動やフードドライブ活動など身近なところから子ども達と共に学び、活動できるようにしています。	これからいろいろな交流をして欲しいです。	地域に平から事業所となるように積極的に地域行事に参加していきます。	
保護者への説明・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容や料金負担については、重要事項説明書に記載し、契約時に読み合わせと行い説明しています。また、行事等で自己負担が発生する場合は、事前にお知らせし了承を得ています。その他、保護者からの問い合わせについては、速やかに丁寧な対応を行うように心がけています。年度初めには、保護者会を開催し、1年のまとめと新年度計画を資料作成し配布しています。	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%	今後も継続して、丁寧な対応を心がけていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月ごとに行っているモニタリング・支援計画面談時に説明しています。	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%	今後も継続して、丁寧な対応を心がけていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の悩みや困りごとに寄り添い、日ごろの事業所での関わり方や対応をモニタリング時や送迎時や連絡帳などを利用し、お伝えしながら、ともに考えています。また、本人も交えて解決策や生活スタイルの見直しなど話し合うような場の提供も行っていきます。	はい…64% どちらともいえない…14% いいえ…7% わからない…14%	今後も継続して、実施していきます。また、学習会も計画し、保護者も職員も共にスキルアップし、子ども達を支える力が身につくようにしていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の事業所での様子は、連絡帳の記載や送迎時にお伝えするようにしています。また、モニタリング時には、家庭や学校等での様子もお聞きし、子どもの様子を再確認させて頂いています。子どもの様子に急な変化など気になることがある時には、電話連絡や事業所で開設しているラインを利用し、タイムラグを少なく共有するようにしています。	はい…93% どちらともいえない…0% いいえ…7% わからない…0%	今後も引き続き、保護者と共通理解できるように取り組んでいきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳、面談の機会に実施しています。相談事項など保護者からの情報を職員間で共有できるように振り返りやスタッフ会議などで報告し、適切な対応を相談しています。また、必要に応じて相談支援員等と連携し、対応できるようにしています。	はい…93% どちらともいえない…0% いいえ…7% わからない…0%	今後も保護者の思いに寄り添い、丁寧な対応に努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は、7月に保護者会・学習会を開催しました。	はい…93% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…7%	保護者のニーズを確認しながら、保護者同士の連携が深められるよう開催方法を検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・接遇対応についての事業所内研修や苦情相談マニュアルを作成し、迅速かつ適切に対応できるようにしています。契約時には当該施設以外にも行政機関を含めた苦情窓口を保護者にお伝えしています。	はい…93% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…7%	今後も対応体制を整備し、契約時だけでなく、保護者会等で周知できるようにしていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言語での支援だけでなく、文字や手話・点字など個人に応じた伝達方法を取り入れながら、意思疎通や情報伝達に努めていきます。保護者への連絡は、連絡帳やお便り、電話やラインを利用しながら上表	はい…86% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…14%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的には、ICT化も視野に入れ検討していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月25日頃、3事業所合同のお便りを発行しています。各事業所の活動の様子や行事・職員研修の報告なども行っていきます。	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的には、ICT化も視野に入れ検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に重要事項説明書の中で確認しています。また、個別支援計画の中にも記載し、確認を行っています。職員にも周知しています。	はい…93% どちらともいえない…7% いいえ…0% わからない…0%	今後も個人情報の取り扱いには、十分に配慮し対応していきます。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル策定を行い、事業所に設置しています。また、職員研修の場なども設け、周知に努めています。保護者への発信については「子ども達の安心・安全の為に安全マニュアルご家庭・事業所相互掲示板」を保護者会資料に添付し、配布しており、それを見て確認してもらいながら事業所利用していただくようお願いします。	はい…93% どちらともいえない…7% いいえ…0% わからない…0%	今後も継続して周知徹底に取り組んでいきます。また、社会情勢に応じ都度マニュアルを見直し、周知出来るように取り組んでいきます。
	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1月に地震、8・9・10月に火災・水害に関する訓練や研修を実施し、様々な災害に対する理解や対策に利用児童と共に取り組んでいます。今年度は、保護者会の際にハザードマップや非常食についての学習会を行いました。	はい…93% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…7%	今後も様々な災害に対応できるよう、多様な災害を想定し訓練を実施していきます。子ども達とも学習し、考える機会を作っていきます。
	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止・身体拘束適正化委員会を年4回計画し、事業所内での支援の在り方を検討し、適切な支援が行えるように取り組んでいます。		今後も虐待防止・身体拘束適正化委員会を中心に研修に取り組み、全職員が意識をもって適切な対応が出ているようにしていきます。
	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議や虐待防止・身体拘束適正化委員会などで事例を検討し、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に十分に説明をし、了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載するようになっています。		今後も身体拘束の必要性を慎重にケース会議や虐待防止・身体拘束適正化委員会を検討・見直しを行いながら丁寧に取り組んでいきます。
	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	解約時のアセスメントや保護者とのモニタリング面談時などに定期的にアレルギー等の有無や薬の飲み合わせ・対応策等の検討を行っています。また、保護者に確認の上、処方箋のコピーを頂くなど職員に周知しています。		今後も保護者と情報共有しながら、個別の緊急マニュアルを更新するなど、安心して通所できるよう対応していきます。
	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があつた場合には、その日の振り返りや翌日のミーティングで職員間で共有しています。また、月例のスタッフ会議で再度確認し、改善策の確認を行い、事故に繋がらないように気をつけています。ヒヤリハット事例は、事例集にまとめてファイリングしています。年間を通して集計し検証するようになっています。		今後も安心安全な環境を保つことが出来るように研修を継続し、ヒヤリハット集を更新し取り組んでいきます。
満足度	子どもは通所をたのしみにしているか	活動予定は、事前に通所決定でお知らせしながら、訓練内容なども見通しがもてるように説明を行い進めています。また、長期休暇中を利用して、子ども達と共に活動計画を考えたり、季節の行事なども取り入れていきます。	はい…64% どちらともいえない…29% いいえ…7% わからない…0%	子ども達にとって楽しいことばかりではなく、少ししんどい思いをすることがあるかもしれませんが、そのような気持ちも保護者様との連携(連絡帳やLINEなどを利用)しながら少ししんどい・苦手なことにも取り組む力に変えていってほしいと考えています。
	事業所の支援に満足しているか	口づから子ども達の様子を観察し、気持ちに寄り添いながら、指導員や子ども達同士の関わりを通して気持ちを切り替え、前向きに物事をとらえて過ごしていけるように、指導員間でのコミュニケーションも大切にしながら子ども達のストレスに着目出来るよう進めています。	はい…86% どちらともいえない…14% いいえ…0% わからない…0%	子どもや保護者のニーズを